

令和2年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補** ・ 県単

事業名	道路事業 [国道橋りょう改築事業 (国補)]		事業箇所	甲府市西下条町～落合町	地区名	国道140号 (新山梨環状道路・東部区間)	事業主体	山梨県
-----	------------------------	--	------	-------------	-----	-----------------------	------	-----

計画期間	当初計画	現計画	変更計画
	H25～R2	—	H25～R4
総事業費	23,200 百万円	12,600 百万円	13,500 百万円

(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化]
(今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)

(1) 事業の概要

① 事業目的及び効果
新山梨環状道路は、甲府市の中心部に集中する周辺からの交通を適切かつ有機的に分散導入を図る機能を有し、甲府市内の慢性的な交通渋滞を解消する甲府都市圏を取り囲む環状道路である。このうち東部区間は、供用済みである南部区間の(仮)西下条ICから国道20号に至る区間である。供用済みである南部区間のうち、特に端部である(仮)西下条ICには交通が集中し、激しい渋滞が発生しており、社会・経済活動に大きな支障となっているため、当区間の整備を早急に進め、渋滞の緩和を図る必要がある。
□ 主要目標 ○市街地内の交通の円滑化
自動車交通量 12,347台/12h > 7,838台/12h以上
混雑度 1.55 > 1.25以上(国道140号・甲府市下曾根)
□ 副次目標 ○災害に強い道路の確保
□ 副次効果 ○主要渋滞ポイントの解消

② 事業概要
計画延長 L=1,600m
道路幅員 車道9.5m [暫定形(2/4)]

③ 全体計画

① 地域・住民の意向状況
沿線の地元自治体や各種団体が構成する新山梨環状道路整備促進期成同盟会から早期完成をより一層要望されている。

② 産業・経済情勢
なし

③ 国等の方針
なし

④ 上位計画・関連事業計画等
「山梨県総合計画」(令和元年12月策定)
「山梨県強靱化計画」(令和2年3月改定)
「山梨県社会資本整備重点計画(第四次)」(令和2年3月策定)
「山梨県道路の整備に関するプログラム」(令和2年3月策定)

⑤ 自然環境条件等
なし

⑥ その他
なし

		令和元年度まで	令和2年度 (評価実施年度)	令和3年度以降
現計画	工事内容	測量調査設計 用地取得 道路改良工事 橋梁工事	道路改良工事 橋梁工事	/
	事業費	10,867 百万円	1,733 百万円	
変更計画	工事内容	測量調査設計 用地取得 道路改良工事 橋梁工事	測量調査設計 道路改良工事 橋梁工事	用地取得 道路改良工事 橋梁工事
	事業費	10,537 百万円	1,762 百万円	1,201 百万円

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

④ 特記事項 (関連事業概要等)

- ・新山梨環状道路東部区間Ⅱ期 L=5.5km
(仮)落合西IC～(仮)広瀬IC 平成26年度事業化(県)
- ・新山梨環状道路北部区間 L=2km
(仮)広瀬IC～(仮)桜井IC 平成28年度事業化(国土交通省)

⑤ これまでの評価状況 (平成29年度再評価)

今回の見直し案は、橋梁形式などの見直し及び軟弱地盤対策の見直しが必要となったことから、事業費を増額する内容となっている。また、国土交通省補助事業に採択された事業区間と整合を図るため、事業評価区間の見直しを行った。現在、用地取得は8割程度進捗していること、主要構造物の工事に着手していること、この事業の完成により、環状ネットワーク効果の早期発現とともに、周辺道路の渋滞緩和が図られることなどから、見直し案により事業を継続することが妥当であり、事業実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり平成32年度の完成に努められたい。

(3) 評価項目 [評価時点の費用対効果分析]

項目		着手時点	再評価時点	変更計画時点
総事業費		23,200 百万円	12,600 百万円	13,500 百万円
工期		H25～R2	H25～R2	H25～R4
経済 効 率 性	評価基準年	H24	H29	R2
	費用	18,600 百万円	11,600 百万円	13,700 百万円
	建設費	18,200 百万円	11,400 百万円	13,500 百万円
	維持管理費	380 百万円	210 百万円	200 百万円
	その他	0 百万円	0 百万円	0 百万円
	便益	24,400 百万円	28,400 百万円	26,300 百万円
	走行時間短縮	18,700 百万円	19,000 百万円	17,900 百万円
	走行経費減少	2,900 百万円	5,300 百万円	4,900 百万円
	交通事故減少	2,800 百万円	3,500 百万円	2,600 百万円
	その他※	0 百万円	670 百万円	900 百万円
B/C	1.3	2.5	1.9	

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益

2. 評価シート

(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]				(6) 変更計画の変更内容 (事業費)																				
①これまでの計画変更等の概要 平成29年度の再評価で、平成25年度の国土交通省補助事業で採択された事業区間と整合を図るため、事業評価区間の見直しを行うとともに、事業費についても増額とする見直しを行った。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>当初計画 ※1</th> <th>事業採択時 ※2</th> <th>現計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画期間</td> <td>H25~R2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計画区間</td> <td>L=3,400m</td> <td>L=1,600m</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>23,200百万円</td> <td>9,700百万円</td> <td>12,600百万円</td> </tr> </tbody> </table> ※1 平成24年度に事業評価に諮った計画 ※2 国土交通省補助事業に採択された計画 ②進捗率 別表のとおり。 ③事業進捗が順調でない理由 事業への反対を理由に用地取得に応じてもらえない地権者1名に対して土地収用制度を活用することとなり、全体工程に遅れが生じている。 また、埋設管管理者との協議の結果、構造形式を函体構造から橋梁に見直しが必要となったこと、地質調査の結果から、想定以上の粘着力を持つ粘性土であることが判明し、対策工法の追加が必要となったことから、事業費が増加することとなった。 ④今後の事業執行上の問題点 未契約用地の取得。 ⑤変更計画の進捗予定 (期間) 未取得の用地に土地収用制度を活用し、工期を2年延長し、令和4年度の完成を目指す。					当初計画 ※1	事業採択時 ※2	現計画	計画期間	H25~R2	—	—	計画区間	L=3,400m	L=1,600m	—	総事業費	23,200百万円	9,700百万円	12,600百万円	変更工種等	事業費増減		変更理由	
					当初計画 ※1	事業採択時 ※2	現計画																	
				計画期間	H25~R2	—	—																	
				計画区間	L=3,400m	L=1,600m	—																	
総事業費	23,200百万円	9,700百万円	12,600百万円																					
橋梁工	300	百万円 増	埋設管管理者との協議の結果、パイプラインが埋設されている農道の跨道を函体構造から橋梁に変更することとなったため																					
中央道 函渠工	600	百万円 増	地質調査の結果、想定以上の粘着力を持つ粘性土であることが判明し、仮設工の変更が生じたため																					
合計	900	百万円 増																						
(5) 評価項目 [環境負荷等への配慮]				過年度に実施した環境影響評価により、著しく環境に影響を及ぼすことがない計画となっている。																				
(6) 評価項目 [コスト削減の可能性]				なし																				
(7) 評価項目 [代替案立案の可能性]				なし																				
(8) 所管部の今後の方針				継続 見直し継続 ・ その他 ()																				
(理由)				県内拠点間の連携を強化する重要な路線であることから、事業期間を2年延長し、令和4年度の完成を目指す。																				

○別表-進捗率 (事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100 単位：%

	年度	H25	H26	H27	H28	*H29	H30	R1	R2	R3	R4
現	計画	4.0	6.8	17.3	25.3	34.7	60.1	86.2	100.0		
	実績	4.0	6.8	17.3	25.3	39.4	55.8	83.6	97.6		
変更計画									91.1	99.9	100.0

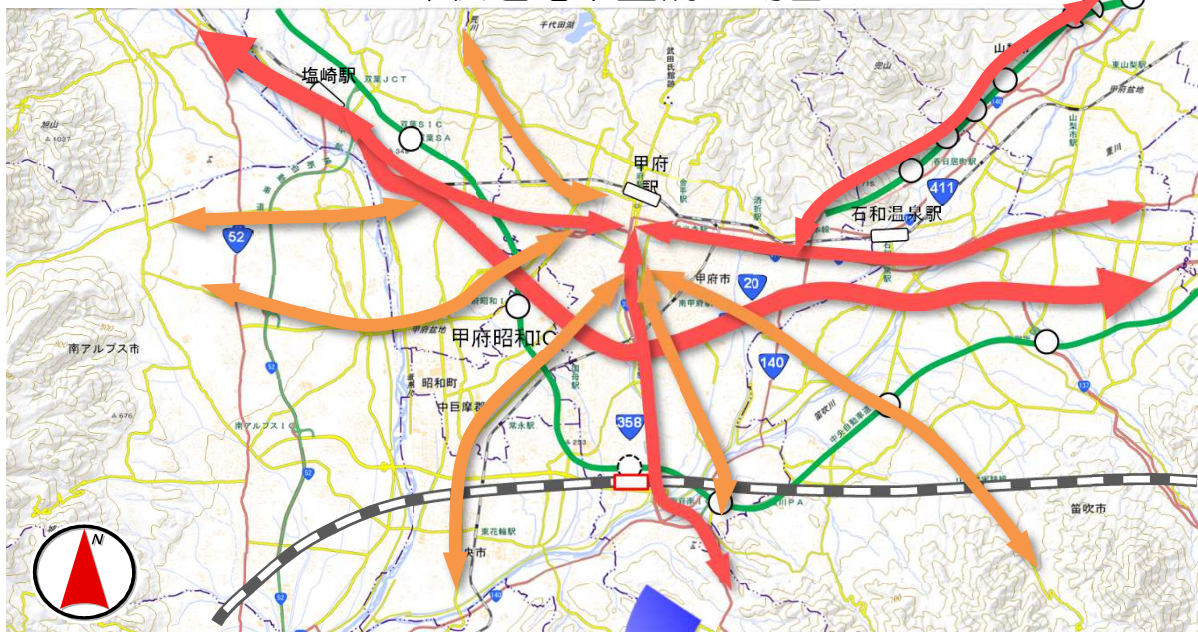
*再評価年度

*R2の実績は見込み

3. 添付資料シート（1）

新山梨環状道路の整備効果

環状道路未整備の場合



環状道路が未整備の場合、
○通過交通が南北や東西に向かうためには
甲府盆地中心部を一度通過しなければならない。
○その結果、甲府市内において慢性的な交通渋滞となる。

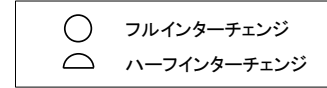
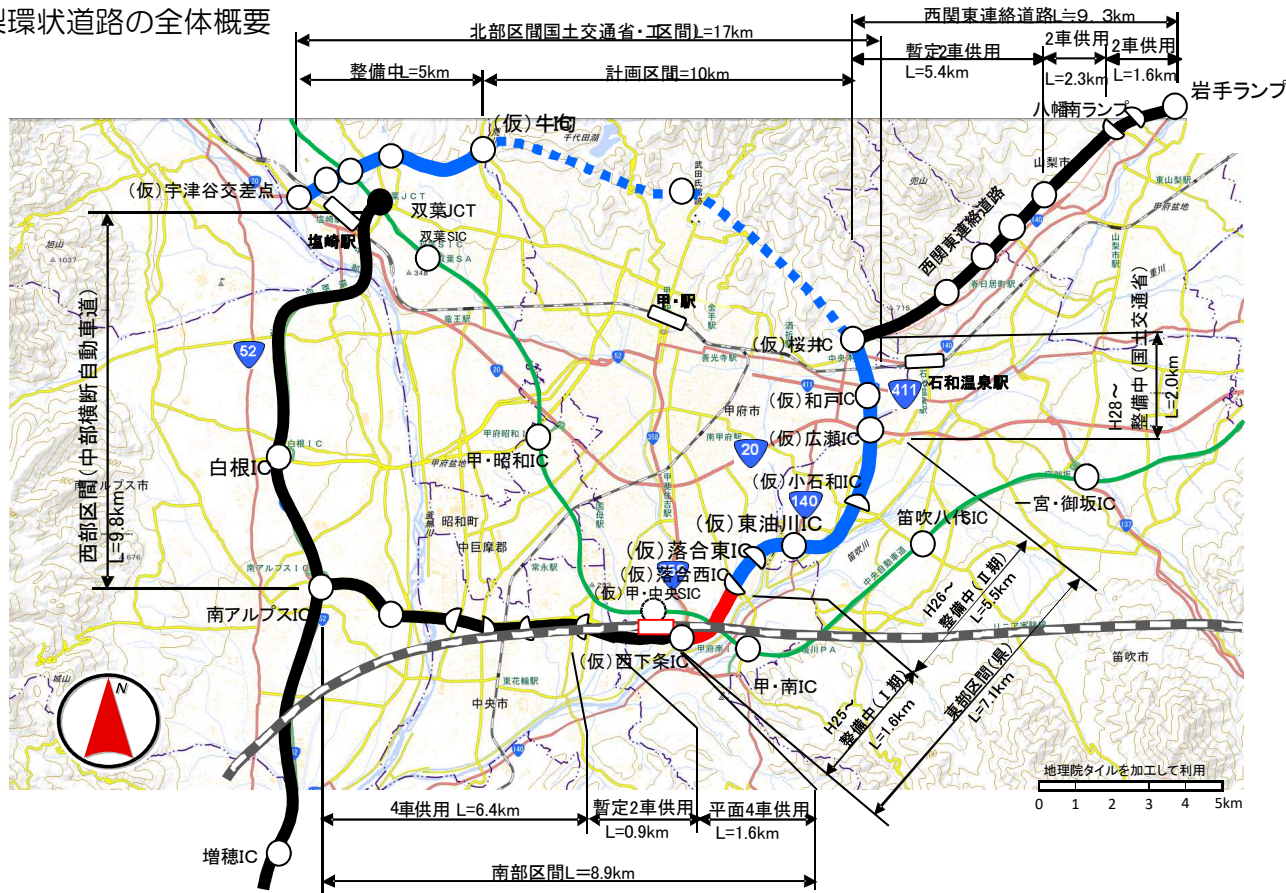
環状道路整備後



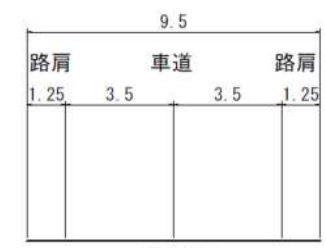
環状道路が整備されると、
○環状道路の外側からの通過交通が環状道路を利用
○その結果、環状道路内側、つまり甲府盆地中心部で
○渋滞の緩和が図られ、
○移動時間が短縮される。

3. 添付資料シート (2)

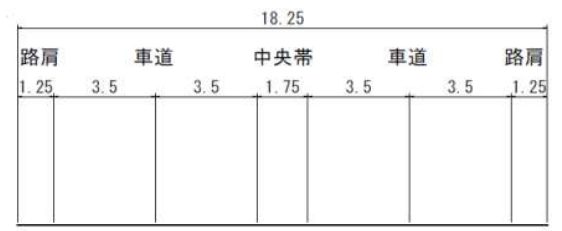
新山梨環状道路の全体概要



標準横断面

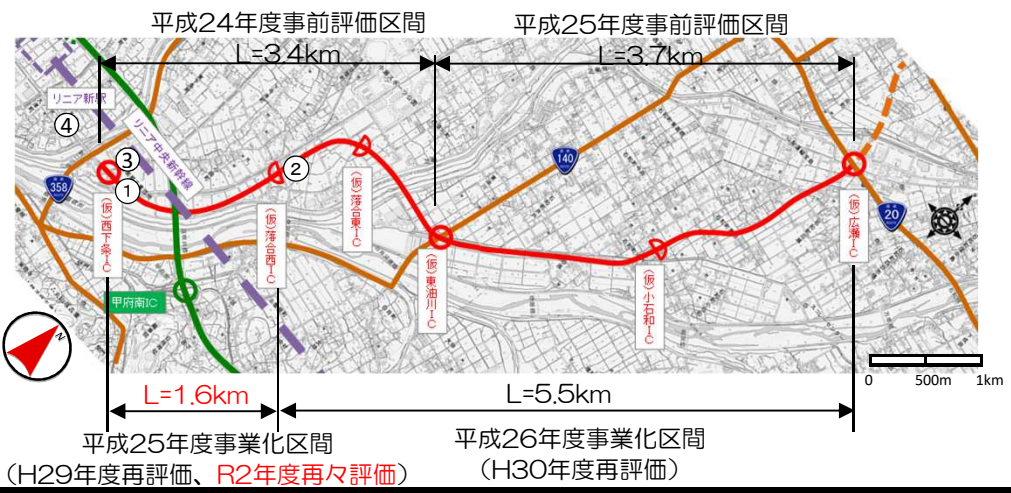


(暫定形)



(完成形)

東部区間



3. 添付資料シート (3)

① 施工状況 (西下条IC周辺)



② 施工状況 ((仮)落合西IC周辺)



③ 西下条IC渋滞状況 (OFFランプ)



④ 西下条IC渋滞状況



4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H25	500,000	測量・調査・設計	3.7%
H26	360,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事	6.4%
H27	1,324,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事	16.2%
H28	998,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事、道路改良工事	23.6%
H29	1,785,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事、道路改良工事	36.8%
H30	2,066,000	測量・調査・設計、用地取得、橋梁工事、道路改良工事	52.1%
R1	3,504,000	測量・調査・設計、橋梁工事、道路改良工事	78.1%
R2	1,762,000	測量・調査・設計、橋梁工事、道路改良工事	91.1%
R3	1,191,000	用地取得、橋梁工事、道路改良工事	99.9%
R4	10,000	道路台帳作成	100.0%
合計	13,500,000		